

千葉県議会議員〈我孫子市選出・無所属〉会派「千翔会」幹事長

# 水野ゆうき

ゆう  
Can Change!

2018年

県議会・活動報告 vol.26

水野ゆうきは  
県政・議会・議員の見える化を  
推奨しています。

ブログ <http://ameblo.jp/yuukimizuno/> Facebook 水野友貴 twitter @yuukitten

2月定例千葉県議会において、水野ゆうきは予算委員会（千葉県の平成30年度当初予算規模は1兆7,288億81百万円）の委員として登壇し、行政と徹底的に計45問の質疑を行いました。

## 地域防災対策：新たな取り組みへ！

### スタンドパイプ設置普及を進める！



大規模な地震が発生した際、同時多発的に各地で火災が起きる可能性があり、消防がすぐに駆け付けることができない場合、地域住民が協力して消火活動にあたる必要があります。火災時に、消火用機材として軽量で操作も簡単であることから、東京消防庁ではスタンドパイプの普及を進めています。

千葉県内では、自主防災組織の資機材として地域防災向

スタンドパイプは、消火栓に差し込み、ホースの筒先を結合することで、毎分100リットル以上の放水ができる消火用機材で、消防車両が進入できない道路狹隘地域などでは有効な消火活動ができることで地域防災の一翼を担うと注目されています。

上総合支援補助金、消防団の資機材として消防防災施設強化事業補助金により、財政支援の補助メニューとして市町村に支援を行っているとはいえ、その取り組みは市原市や八千代市など限定的であることから、スタンドパイプを活用した初期消火の取り組みが県内全域に広まるように今後も引き続き取り組むよう質問・要望し、全体的に普及を進めていくという答弁を得ました。



### シェイクアウト訓練の推進！

シェイクアウト訓練は米国で始まった地震防災訓練で日本でも全国各地の自治体、企業、大学などが始めています。千葉県ではシェイクアウト訓練の実施を各市町村に呼び掛けているものの、千葉県が行っているのは「防災訓練」「避難訓練」に参加している人たちの中でのシェイクアウト訓練。大規模地震はいつどこで起こるかわかりません。神奈川県では「かながわシェイクアウト」としてJリーグの試合前、花火大会やお祭り等、いわゆる防災訓練に自ら参加していない方々を対象に、シ

ェイクアウト訓練を実施する取り組みをしています。千葉県でもスポーツイベントなどを利用したシェイクアウト訓練の実施など、新たな取り組みを行うよう質問。千葉県からは防災訓練以外のスポーツイベントなど不特定多数が集まる場で訓練をすることは大変有意義であるとし、千葉県として、各種イベントや行事にて訓練が実施されるよう、市町村や指定公共機関などに対し、様々な機会を通じて働きかけていくことになりました！

### 千葉県から地震体験車『まもるくん』を呼びました！

3月10日、11日にあびこショッピングプラザにて開催された『3.11鎮魂竹宵の集い2018』において、初めて千葉県から地震体験車「まもるくん」がやってきました。

我孫子市民団体の皆さんからご要望があり、我孫子市の全面的なご協力とご理解のもと、千葉県が所有している「まもるくん」を我孫子市に呼びました。2日間でのべ600名の市民・県民の皆さんに地震体験車を体験していただきました。引き続き、水野ゆうきは市民・県民の防災意識の向上に全力で取り組みます。



### 女性の妊娠・出産支援体制の充実へ！

#### 千葉県で新規事業

#### 『妊娠SOS相談事業（4,000千円）』を展開！

予期しない妊娠など、様々な事情から妊娠出産に不安や悩みを抱える女性からのSOSに対し助産士や看護師が対応する電話（週5日夜間3時間）、メール（24時間365日受付）を活用した環境を整備し、相談から適切な支援機関につなげる新規事業が展開されます。

#### 水野ゆうきの視点

「予期しない妊娠」は学生など若年層が多い。困っている女性たちに妊娠SOS相談の窓口を知ってもらうことが重要であり、薬局やコンビニにカード型チラシを置いたり、大学・高校や医療機関にチラシを置くことなどが、電話も3時間の対応で相談体制が充実しているかという疑問である。相談状況によって広報・周知方法及び相談体制等の見直しも行うことを要望し、事業を開始後は柔軟に改善点に対応できるようにしていくという趣旨の答弁を得ました。

### 共同提出した発議案3件、自民党等の反対で否決

水野ゆうきが所属する会派「千翔会」では、以下3件の発議案を民進・立憲とともに共同提出をしておりましたが、千葉県議会でも単独過半数を持つ最大会派自民党が反対したため、否決されました。

- 全国各地で導入が進む「ヘルプマーク」の普及啓発を求める意見書について（※公明党賛成）
- 施設で暮らす災害弱者を守る体制整備に関する国の支援を求める意見書について
- 地方議員の厚生年金加入を可能とする制度変更に対する反対をする意見書について

水野ゆうきは議員だけが自治体の負担のもとに恩恵を受けることは、国民の理解を得られるものではなく、基礎年金（国民年金）を自ら否定するものであり、厚生年金加入ではなく国民年金の底上げ拡充で対応すべきだと考えます。

# 手賀沼の環境保全

## 手賀沼の水質汚濁のメカニズム解明に向け予算計上！

手賀沼は手賀沼流域の宅地開発が急速に進んだことにより人口が急増し、沼には大量の生活排水が流れ込んだことで、COD（化学的酸素要求量：代表的な水質の指標の一つ）の悪化が進み、結果、夏にはアオコが異常発生し、沼に生息する魚や水生植物にも影響しましたが、北千葉導水事業による排水規制を強化したことにより、水質は大幅に改善をされたものの、環境基準の5mg/Lを達成していない状況です。

**水野ゆうきの質問** COD、全窒素、全りんの前年平均値は10年前とほぼ変わっていない。手賀沼の水環境課題に対し、課題の認識と今後の取り組みは。

**千葉県の答弁** 水質は環境基準を超過しており横ばいの状況であると認識。平成30年度当初予算案で水質汚濁メカニズム解明のために必要な調査等の予算を計上。<sup>\*</sup>

<sup>\*</sup>9,000千円（印旛沼・手賀沼対象）：水質汚濁メカニズムの解明には水質予測シミュレーションの精度向上が不可欠であることから、平成30年度はシミュレーションに必要な既往調査データや文献等の収集・整理、流量・水質などの基礎調査を行うこととしている。

## 特定外来生物：ナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイの対応

手賀沼流域ではナガエツルノゲイトウ、アレチウリ、オオバナミズキンバイなどの特定外来生物が確認されています。千葉県では、河川管理上の支障が生じているものは県が駆除を実施しているほか、水辺環境の保全のため、市民団体と関係機関等が協働により駆除を実施。また、県及び市民団体等において、水生植物の繁茂状況の調査を実施しています。

**水野ゆうきの要望と主張** オオバナミズキンバイは手賀沼で昨年初めて見つかり、環境保護団体のメンバーや県・市の職員らも参加し水際での除去作業を進めた。オオバナミズキンバイは琵琶湖で2009年度に初確認されて以降、爆発的に増殖し、滋賀県は2016年度、駆除に3億3千万円を投じるなどしており、手賀沼に関しても早めの対応が肝要である。手賀沼流域における植物について環境に応じて適切に対応すべき！

# 東京オリンピック・パラリンピック

## オリンピック・パラリンピック

### 教育推進校の拡大へ！

昨年、森田知事と日本フェンシング協会の太田雄貴会長の会談により実現したフェンシングの学校訪問。子供たちにフェンシングの魅力や競技の見どころを伝え、競技に対する理解を深めることを目的としています。来年度は全県に展開し、多くの子供たちが競技に親しむ機会を提供していくという答弁を得ました！

また、29年度に指定されたオリンピック・パラリンピック教育推進校30校を30年度はさらに拡大していくという答弁を得ることができ、水野ゆうきが掲げているスポーツ政策は確実に前進しています。



森田知事、太田雄貴日本フェンシング協会会長（北京五輪個人、ロンドン五輪団体銀メダリスト）、水野ゆうき

## 東京2020への機運醸成に向けた情報発信事業を展開！

千葉県は東京オリンピック・パラリンピックに向けて、県民の大会への関心を高めるため、県内オリパラ関連情報発信を集中的に行うとともにSNSを活用した県民等からの情報発信を行います。水野ゆうきは事業内容の充実について詳細に質疑を行い、内容を充実させています。

### オリンピック・パラリンピック関連番組放送（24,236千円）

千葉県内開催競技のルールや見どころ紹介、県内市町村の事前キャンプ誘致・受け入れに向けた取り組み、県民のおもてなし活動をテレビ番組で放送。

**水野ゆうきの要望** テレビの影響力は大きいとはいえ、局や番組、時間帯によってその視聴率は様々であるため、多くの県民が見る放送時間帯の折衝を要望。

### （仮称）千葉の魅力発信隊事業（5,764千円）

県民等が体験した様々な「千葉の魅力」を全国に発信していく「発信隊」を結成し、「隊員」は千葉県が立ち上げるFacebookに食べ物や観光スポットを投稿し、閲覧者の具体的行動を誘発し、年度末に「いいね！」獲得上位者を表彰する。

**水野ゆうきが指摘している要点** 発信隊の募集方法としては県HP等の活用で大会までに300名の発信隊を目指すとのことだが、県開催の研修会に来た人全員を発信隊にすることは危険であり、不適切な発言を行う人を選定しないように気を付けるべき。投稿内容だけでなく、複数のアカウントを所持している場合もあるため、アカウント自体も確認するよう要望する。また、隊員のFacebookへの投稿内容が、ほかのSNSツールにも同時投稿できるよう幅広く伝わる仕組みが必要である。

⇒**千葉県**：発信隊への参加申請に対し、申請者の過去の投稿内容を確認の上、承認するようなシステムを考えている。また、投稿の際に順守いただくルール等を記した利用規約を整備し、承認前に周知を図る。県が開設するフェイスブックに投稿した内容については、投稿者個人が設けているフェイスブックのページにも反映される仕組みを想定。投稿者がフェイスブック以外のSNSも利用している場合はSNSへのリンクも可能であり、幅広い情報拡散を図ってきたい。

# 手賀沼終末処理場の臭気対策を進める！

手賀沼終末処理場に関しては、臭気対策に係る要望書が地域住民から提出されるなど、効果的かつ早急な臭気対策が求められています。

臭気対策として千葉県は、処理場周辺の住宅の近接状況や敷地境界における臭気測定（夏季に年1回）の結果を踏まえ処理水量の増加に合わせ実施しており、流入施設や汚泥処理施設への脱臭設備の設置が完了し、水処理施設については、汚れが多い最上流側への蓋と脱臭設備の設置が完了。平成28年度には水処理施設の最上流部にある最初沈

殿池の上流側の池への蓋と脱臭設備の設置が完了。平成29年度は効果検証のため頻度を増して計測。平成30年度に最初沈殿池の残る池への蓋と脱臭設備の設置に着手し、早期に必要な整備が完了するよう努めていくという答弁が得られました。

**水野ゆうきの要望** 頻度を増やして計測をし、データの公開も進めてほしい。水処理施設においては最初沈殿池の残り3分の2の池への蓋と脱臭設備が未完了であることから早期に対応するよう求める。

水野ゆうき公式プロフィール

**役職** 千葉県議会議員（会派「千翔会」幹事長、総務防災常任委員会委員）

◎千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問、手賀沼水環境保全協議会顧問、一般国道356号整備促進期合同盟顧問、松戸健康福祉センター運営協議会委員等

**経歴** 1983年2月19日生の35歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入、帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒、津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。東証一部上場物流社入社（秘書部秘書課秘書グループにて6名の役員秘書担当）。民放テレビ局勤務（報道局経済部所属・BSフジLIVE『PRIME NEWS』担当）。2011年我孫子市議会議員選挙3位当選。市議時代に我孫子市のPR、情報行政、ネット・メディア戦略に注力し、我孫子市の魅力発信に寄与。2015年千葉県議会議員選挙当選。

## 『我孫子ゆうき部』（水野ゆうき後援会）部員大募集！

水野ゆうきの政治活動・地域活動を支援して下さる事務員・部員を募集しております。詳しくは水野ゆうきホームページ（<http://www.mizunoyuuki.com/>）、水野ゆうき Facebook までお気軽にご連絡ください。担当スタッフがご連絡させていただきます。